

5月号

第388号

いっしん

平成29年(2017年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

親思う
心は人の
まことなり
神も愛くしと
みそなはすらむ
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教



教主金光様のお祈りのもと金光浩道先生がご祭主をお仕えになられました



教祖様奥津城近くで河津桜が満開でした



御本部

天地金乃神大祭

参拝

四月一日(土)〜二日(日)

「寒のもどり」で桜の花は、関東・関西方面が先に開きだし、鹿児島県の桜はまだまだ蕾で、熊本・福岡も日当たりの良いところの桜が、わずかに咲く程度で四月(卯月)を迎えました。

まだ開き切らない桜を、サーブスエリアで眺めながら、薩摩街道に沿って一直線に九州を貫く高速道路を、通って、春の御本部 天地金乃神御大祭に参拝させていただきました。

今回は、鹿児島地方の北薩地区周辺の教会と、熊本県球磨地区の教会が合同で、マイクロバスをレンタルして乗車し、参拝させていただきました。

加治木教会を午前七時過ぎに出発したマイクロバスは、まず大口教会で、大口教会・宮之城教会・川内教会・出水教会の参拝者の方々が乗り込まれました。(次ページにつづく)

御本部 天地金乃神御大祭参拝… P1~3
勧学祭・お知らせ… P7

甘木親教会「青年の集い」… P4~6
行事予定… P8



だきまして、ありがたいうことでございました。

いろいろな良いお話も聞かせていただきました。

お話しの中の一つでも実行させていただいて取り組ませていただき、また秋の御大祭に参拝させていただきたいと思っております。今日はありがとうございました。



きました。

皆さんと一緒に参拝させていただきまして、良いお話も聞かせていただき、またいろいろなものを見せていただくといいことができ、ありがとうございます。

▼【萬代孝子氏】今日の参拝は、いつもならば土曜日に仕事がありますので無理かとおもっていましたが、都合がつき参拝させていただくこと



ができてましてありがたいうことでございました。

また、このたび(三月)長男が結婚させていただきまして、家族を代表して御礼参拝をさせていただくことができました。

長男は、宮崎市で一週間前に結婚式を挙げさせていただきました。

時々宮崎北教会に参拝させていただいておりまして、昨日は宮崎北教会の先生にお会いさせていただきました、ご挨拶もさせていただくことができ、ありがとうございます。

また、御本部で聴かせていただきました。また、御本部で聴かせていただきました。また、御本部で聴かせていただきました。また、御本部で聴かせていただきました。

▼【松井教子 先生】一番下の子が今年成人式を迎えさせていただきます。



まして、子育てが終わらせていただき、ここ一・三年前から春と秋

の御本部参拝をさせていただくことができるようになりました。

去年、下の娘が学院を卒業させていただきました。昨日四月一日付で御本部の職員として御用させていただきますこととなり、今日は祭場の方で御用させていただきます。

やはり御本部に参拝をさせていただきまして、心が清々しくなりありがたいこととあります。これからもよろしく願います。



▼【前田和子氏】このたびの春の御本部参拝は、前々から願いを立てさせていたいただきまして、どうしても御礼参拝をという気持ちで、前もっていろいろな準備ができましたので、ゆっくりとした気持ちで参拝させていただけたような気がします。

いろいろなことで準備のお繰り合わせを頂いてのありがたい参拝となりました。

皆さんお世話になりました。ありがとうございました。

甘木親教会 「青年の集い」

親先生ご教話（要旨）



安武道義親先生

甘木教会の初代は、人から誘われて小倉教会にお参りをし、桂松平先生からお土地のご恩を聴いて、足もとから鳥が立つような驚きをもって信心を始めました。

今日「神人あいよかけよの生活運動」に「神人の道を現そう」とあります。今日おかけを頂いたことを人に伝えて行く必要があると思いません。

信心が続くということは容易なことではありません。親は、神様がありがたいうことがわかっていても、次の代はわからないことがあります。

信心していても辛いことが起きてくることがあります。

お道では「おかげの中のびきり」と

と教えられています。

○ 先日、六十八才の信者さんがアンテナの修理をしようとして屋根から落ちて急死されました。

これから、まだまだお道の御用に当たっていただきたいと思っていた方でした。

しかし、そこまでおかけを頂いておられたと思えるのです。

その方は、十九才のときクモ膜下出血を患われ病院に運ばれたのですが、お母さんが「手術はしません、神様でおかけを頂きます」と言われ手術を断られました。

そうして一命を取り止めて全快され、それから五十才の命を頂かれ六十八才までおかけを頂かれたのです。

○ 「神様のおかげで今日がある」「神様は氏子のためにならないことはなされない」「神様はムダごとはなされない」と教えられてもありません。

○ 私の母は、四十二年前の四月七日に、四十六才で亡くなりました。

私は二十三才、学院卒業間近の時で亡うしてかなくと思いました。

母は若いときから治療のしようのない難病でしたが、そのような中に、子どもたちを育ててくれました。

○ しかし、信心させていたかどうか、少しずつ分からせていたかどうかは「私が小学校のときには具合が悪く、そのとき亡くなっていたらどうにもならなくなっていたが、それから十年命のおかげを頂いていた」ということです。

○ 「願うおかげを頂かなかったので信心をやめる」という人もないことはありません。

自分にとって不都合なことも、後におかげになっていく、そこを思い違い考え違いしないようにしなければなりません。

「信心がわかる」ということは、日々お話を聴かせていただき、稽古をさせていただくことです。

私もまだまだ知らないことがたくさんあります。「わかった」と思っている、知らないことばかりです。

信心にゴール（終わり）はないのです。求め続けていくことが大切だと思います。

甘木親教会

「青年の集い」

に参加させていただいて

(上田和也)

第四十三回「青年の集い」に、今年もお繰り合わせをいただき、参加させていただくことができました。

今回の参加者は、例年に比べ少なかったのですが、参加者は顔なじみのメンバーが多く、返って親しみ深い集いとなりました。

第一日目に、親先生のご教話を聴かせていただき「若い頃は、信心がわからないことや、大変なことがあっても、信心の稽古を継続していくことが大事なことである」ということが印象に残りました。

第二日目には、熊本県益城町にある、木山教会の矢野道雄先生の感話を聴かせていただきました。

熊本地震の震源地で地震に遭われ、この一年間の体験や思いをお話し下さいました。

地震でお広前が全壊して、毎日が大変なご体験をされておられた中に、



起こってくるいろいろなことがらを、ありがたい思い、良い思いに、思いかえをされて行かれ、深い信心をしておられることがわかりました。

また、参加者に「青年の集い」で出会い、近く結婚されることとなられたお二人がおられました。心から祝福してあげたいと思わせていただきました。



親先生のご教話



記念撮影



朝御祈念での班別懇談
(御大祭前信行期間)



奥津城参拝 (4/16朝御祈念後)

甘木親教会

「青年の集い」

矢野道雄先生感話（要点のみ）

熊本地震から一年が経ちました。益城町ではまだまだ、解体作業が続いている真っ最中です。

これまで、皆様のお祈り、また、いろいろな形でボランティアなどにお見え下さり厚く御礼申し上げます。

信心にご縁を頂いているからこそ、人のことを祈ること、ありがたいと思うことができ、私自身を人間らしく立ち返らせてくることができたと思います。

教会広前教職舎は全壊で、信者さん方は、七軒が全壊でしたが亡くなる方は一人もなく、先の見えない現実の中で大変ではありながら、ありがたい思いが出てきました。



木山教会 矢野道雄先生

片付けや解体など、ひとつひとつお繰り合わせを頂き、人を差し向けて下さる体験をさせていただきました。

困ったこと大変なことの受け止め方を「おかげ」と思いかえることができました。

ひとつひとつ毎日「ありがとうございます」とお礼を申すことができ、一日一日神様がいろんなことを教えて下さるように思えました。

人を恨んだり憎んだりせず「ありがたい」思いで乗り越えさせていただくことができました。

み教えで、自分の心を日向に持っていくことができ、心の芽が出てくる思いを体験しました。

信心にご縁のある私たちは、抱え込み背負い込む心の荷物を、お取次を頂きみ教えを頂きながら取り組むことで、神様に預かってもらい、心の荷が軽くなり、お礼を申して行く



うという思いにならせていただけ、おかげの中に生かされていることに気づくことができました。

木山教会 矢野道雄先生の感話に聞き入る参加者



勸学祭 仕えられる

御本部天地金乃神大祭が四月一日(日)に仕えられましたので、毎月一日にお仕えされます報徳月例祭は四月四日(火)に変更され、報徳月例祭に併せて勸学祭が仕えられました。

祭詞奏上後、入学・卒業・進級した人か、その代理の家族が御礼の真を現す意味合いの玉串を奉奠させていただきました。

現在、加治木教会の少年少女会員で、少年少女会の行事にいつも参加する会員は小学生一人と幼児数人です。

しかし、幼稚園の入園式や始業が三日(月)だったので幼児のみなさんは参拝することができませんでした。

そのため少年少女会員で参拝のできた月迫蘭さんに、代表で記念品を受け取ってもらいました。



ご結婚おめでとう
ごさいます
萬代慎太郎さん
宇戸麻佑子さん

の二人は、五月十八日、
華燭の聖典を仕えられました。
未来いご多幸を心より
お祈り申し上げます。

ご霊神様のおまじない

五月

- 平地ヨシ子 之霊神(1日)昭和18年
 - 松田俊夫 之霊神(3日)昭和20年
 - 福元久伸 之霊神(5日)平成9年
 - 信國道雄 之霊神(6日)平成16年
 - 庄村ヒテ 之霊神(12日)平成12年
 - 津上國臣 之霊神(14日)平成18年
 - 向江喜右衛門 之霊神(20日)昭和54年
 - 向江ハツギク 之霊神(28日)昭和47年
 - 須藤実行 之霊神(30日)平成13年
- 立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭では、一霊前での玉串の奉てんを準備しています。

感 詠

(教会長)

いかにせよ
寒のもどりを
人かたりのも
変わらぬもの
変えられぬもの
天地の
働きわすか
働きの力
人の微力を
思いの知らされ

わかつたとか
思うだけしか
わかり得ぬ
今日でありなむ
行く先遥か
先のため
今堪え忍び
行き先に
栄えあること
知る人減りぬ

あしあと

加治木教会行事記録

4月

- 1(土) ◆御本部参拝 出発
- 2(日) ◆御本部 天地金乃神大祭
- 4(火) ●報徳月例祭 10時半
- 併せて◆勸学祭
- 9(日) 清掃御用 10時
- 10(月) ●生勢光 月例祭 10時半
- 13(木) ●連合会執行部会 10時半
- 15(土) 5/16(日)
- ◆甘木親教会 青年の集い
- 17(月) 若婦人会(大祭更衣練習) 10時半
- 21(木) 清掃御用 10時
- 22(金) ●月例祭・共励会 13時半
- 25(火) 甘木親教会 御大祭 第1日
- 26(水) 甘木親教会 御大祭 第2日
- 29(土) 御用奉仕 10時
- 30(日) 加治木教会 天地金乃神 御大祭

5月4日(祝) 開会 9時半
出発 5時半

甘木親教会 布教記念祭奉祝

バレーボール大会

人吉教会・宮之城教会・多良木教会・免田教会
合同の、南九州連合チームにて！
バレーボールがでない方も、応援部隊で
参加してみませんか？

《御大祭》

五月五日(祝) 西鹿児島教会

五月七日(日) 多良木教会

五月十四日(日) 大口教会
上荒田教会

五月二十一日(日) 鹿児島教会

五月二十八日(日) 泉田教会記念祭
人吉教会

主催・全国信徒会 担当・南九州教区信徒会
宮崎県教会連合会

西南ブロック信心研修会

場所・宮日会館十一階 宮日ホール

日時・六月四日(日) 十二時半～十六時

六月十日(土) 午前十一時より

月例祭に併せて

布教66年記念祭奉仕

教話後、直会。

教会行事

5月

1 (月) ●報徳月例祭 10時半

4 (祝) 甘木親教会バレーボール大会参加

5 (祝) 西鹿児島教会御大祭 12時

7 (日) 多良木教会御大祭 11時

9 (月) 清掃御用 10時

10 (火) ●月例祭 生神金光
大神様 10時半

14 (日) 大口教会 御大祭 12時

上荒田教会御大祭 11時

20 (土) 少年少女会作品作り 10時半

21 (日) 鹿児島教会御大祭 11時

清掃御用 10時

22 (月) ●月例祭・共励会 13時半

24 (水) 連夏の集い企画会議 宮之城
教会等

28 (日) 泉田教会 30年記念大祭

人吉教会 御大祭 11時

31 (水) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

6月

1 (木) ●報徳月例祭 10時半

3 (土) 親教会参拝日(参拝未定)

4 (日) 西南ブロック信心研修会

6 (火) 57 (水) 教師研修会

9 (金) 清掃御用 10時

10 (土) ●月例祭 生神金光
大神様 10時半

併せて 加治木教会布教六十六年記念祭

11 (日) 御本部整独立記念祭(参拝未定)

21 (水) 清掃御用 10時

22 (木) ●月例祭・共励会 13時半

29 (木) 清掃御用 10時

30 (金) 上半期感謝祭 10時半

《未定行事》青年会・若婦人会

加治木教会 バンド練習会

練習日 随時連絡します。

今年も練習会に参加のおかげ
を頂き、みんなで8月の全国
大会で、健康の御礼を現させ
ていただきますよう。

「熊本地震」の「移動図書館

おあしす」が開かれるときの、
演奏奉仕のおかげを蒙らせて

いただくこともできます。

被災地のみなさんの心を癒す
ことができる、まごころの演

奏を目標に！

少年少女会 作品作り

少年少女全国大会の

「作品展」出品用工作

共同作品を作ります！